

ストップ🚫患者負担増

支部では2,700筆を突破！ 引き続きご協力を！

昨年から取り組むストップ患者負担増署名の到達が、現在到達は県下では27,466筆、支部では2,702筆(2月20日現在)となっている。

政府の新しい患者負担増計画では、現在の窓口3割負担に、定額負担を上積みすることや、入院時の食事代負担を増やすこと、漢方などを保険適応外にすることなどが狙われている。

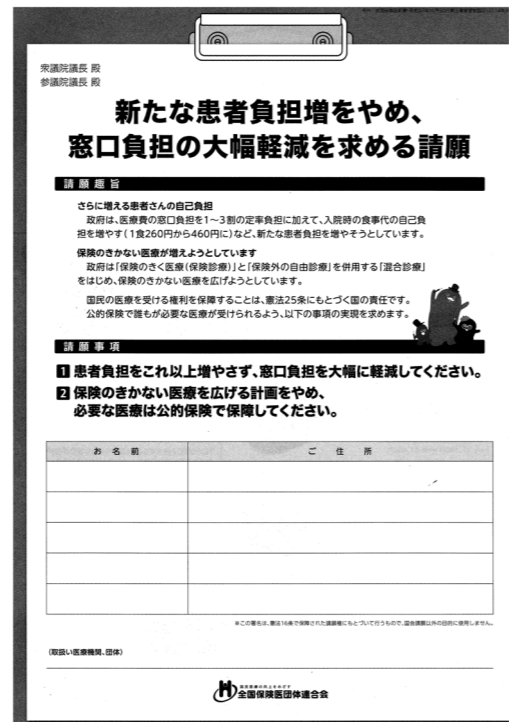
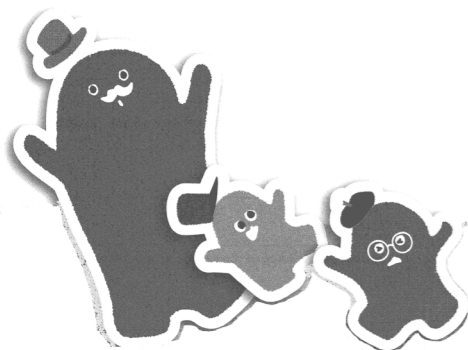
協会・保団連は、国民医療の向上と、保険医療機関の経営を守る立場からこれらの計画に反対しており、「新たな患者負担をやめ、窓口負担大幅軽減を求める請願」に取り組んでいる。

協会では毎月国会要請行動を行い、兵庫県選出の国会議員に署名の紹介議員の要請や懇談を行っている。3月には姫路・西播支部からも支部役員が参加し、署名を提出する予定。

兵庫協会では県下で5万筆、支部では6,570筆を目標としており、さらなるご協力をお願いとして会員医療機関に協力をお願いと署名用紙、返信用封筒を再度送付している。

まずは院長ご自身とご家族、職員の皆さまの署名からご返送いただきたい。患者署名の署名用紙は追加注文をいただければ無料でお届けする。解説リーフレットやチラシ、ハガキ署名付きポケットティッシュなどの宣伝グッズも用意しているので、こちらもご注文いただきたい。

すでに署名を集め、返信をいただいている医療機関もあるが、一筆でも多くの署名を集めるために、引き続きのご協力をお願いしたい。署名の追加注文、お問い合わせは協会事務局まで。



兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.210 2015年2月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803 FAX/078-393-1802

姫路市子どもの医療費無料化

「求める会」無料化実施へ要望書提出

15年度予算案で

「中3までの無料化」盛り込まれる



(上・右)
市民局長らと
懇談、要望書
を提出した



<p>現行 0～2歳(所得制限なし) 3歳～小学3年生は800円(医療機関ごと 月2回まで) 小学4年生～中学3年生は2割負担</p>	↓	<p>新制度案 無料化を0歳～中学3年生に拡大 (0～2歳は所得制限なし 3歳～中学3年生は所得制限あり)</p>
--	---	--

平成27年姫路市主要事業の概況より

姫路市は、2月13日に15年度予算案を発表した。子どもの医療費について、無料化の対象を0歳～中学3年生までに拡大すること(通院・入院共に0～2歳は所得制限なし、3歳～中3までは所得制限あり)が盛り込まれた。予算案は3月議会で可決・成立する見込みで、成立すれば7月より実施される。

1面の続き—

3月議会を前に、1月27日に「こどもの医療費無料化を求める会」が市の当局に要望書を提出した。支部としても昨年より会が取り組む「中学校3年生までの子どもの医療費無料化を求める署名」に協力していた。2カ月で1万5000筆近くを集め、市議会に提出し9月議会で全会一致で採択されたが、実施について具体的な情報は明らかになっていなかった。

今回、石見市長宛で「議会ですっかりと審議すること」、「中3までの医療費無料化をいち早く実現すること」を求める要望書を提出した。市民局長らと懇談し、「子ども医療費無料化の拡大の検討は、市長の姿勢として示された」などの回答を得た。

所得制限の基準は現段階では不明だが、支部としては市民が安心して受診できるように所得制限を設けずに制度を実施するよう、4月の市長選・市議会選挙に向けて候補者・会派アンケートを行う予定にしている。

春のいっせい地方選挙

姫路市長選候補者、 市議選会派にアンケート

支部は、4月26日投開票予定の姫路市長選挙、市議員選挙にむけて、候補者・会派アンケートを実施することを決定した。

市長選挙は各候補者(現在2名が立候補を表明)、市議会選挙では各会派(7会派)へアンケートを送付する。「子どもの医療費について所得制限を設けず実施すること」、「母子家庭医療費など姫路市独自の助成制度を導入すること」、「夢前町の産廃処分場建設問題について」などそれぞれどのように考えているかなどを中心に行っていききたい。

3月中を期限に回答を求め、結果は4月の支部ニュースで掲載予定。

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願ひします。

お問い合わせは、TEL 078-393-1803 F A X : 078-393-1802

E-mail : arimoto@doc-net.or.jp

担当事務局；有本まで

消費税問題学習会

「損税」解消は 「ゼロ税率」で

支部は、1月29日の幹事会終了後に消費税問題学習会を開催し支部幹事4人が参加した。「みんなで考えたい。消費税のこと。医療のこと。税金のこと。」をテーマに吉岡正雄協会副理事長が講演を行った。

吉岡先生は、消費税は所得の低い人ほど負担が重いことや、景気を落ち込ませる原因になることを説明し、昨年4月に8%へ増税されたことによって物価の上昇と消費支出の減少を引き起こしていることを明らかにした。



吉岡先生がスライドで丁寧に解説

医療機関に発生する「損税」問題について、政府は診療報酬への上乗せで補填しているとするが、上乗せに大きく偏りがあるなどの問題があると指摘した。「税制の欠陥は税制で解決するのが筋だ」として、薬剤や医療機器の購入にかかった消費税を申告して還付を受ける「ゼロ税率」が適切な解決策だとした。

消費税増税が法人税の減税のためにすすめられてきたことや、財政難の原因は社会保障費ではないことを明らかにし、大企業の内部留保の一部を活用するなど、暮らしや内需を支える成長戦略が必要だと訴えた。

第269回支部幹事会より

1月29日(木)14時30分～ 於 イーグレ姫路第セミナー室

参加 4人

◆夢前町の産廃処分場建設問題、姫路市長選・市議選などについて議論が行われた。支部の今後の企画として、サ高住見学会、他科を知る会などについて確認された。幹事会終了後には消費税問題学習会(講師：吉岡正雄副理事長)が行われた。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。お問い合わせは、TEL 078-393-1803 F A X : 078-393-1802 E-mail : arimoto@doc-net.or.jp 担当事務局：有本まで